教育会館だより

No.75
発行日
2024年4月1日
発行人
増田　貴範
〔題字〕
舘盛　静光
（元相模原市長）

目　次

1ページ
理事長のあいさつ

2・3ページ
2023年度事業報告

4ページ
2024年度事業計画

発行　一般財団法人相模原教育会館　〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-13 ☎042（758）2190
http://www.sagamiharakyouikukaikan.or.jp/

学校・家庭・地域がより連携を深め社会全体で子どもを育てるために

理事長　増田　貴範

皆様には日頃より相模原教育会館事業にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

1月1日に発生致しました「能登半島地震」にて、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。時節柄、県央・県北地域にお住まいの方々も、帰省中に被災された方も多数いらっしゃることと思います。一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

相模原教育会館は、「ふれあい」をキーワードに、「ふれあい映画」や「ふれあいカルチャー」等、多くの事業を展開しております。

昨今、生活や価値観の多様化にともない家族形態や共同体としての地域のあり方が変化したり、情報化社会の進展により人のつながり、自然・動植物とのふれ合いが失われたりしていると感じてなりません。

文科省の調査によると2022年度の不登校者数が29・9万人となっており、この2年間で約10万人も増えていることが明らかとなりました。また、「登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク」が実施した「子どもが不登校を経験した親への全国アンケート調査」によると、「不登校の家庭の親の変化」として、「自分を責めた」64・9％、「孤独感・孤立感」52・0％となっています。

このような状況だからこそ、学校・家庭・地域がより連携を深めるとともに、子どもや保護者を孤立させることがないよう社会全体で子どもを育てることが求められているのではないでしょうか。

すべての子どもたちが明るい笑顔で、元気に過ごせるよう努めるのは私たち大人の責務です。またICT機器の進化や普及により、人・自然・動植物との関わりが減少している中、実体験から得られる学びや感動は貴重です。

そうした観点からも、相模原教育会館の設立目的である県央・県北地域の教育・文化の振興と教職員の教養、福利厚生の向上をめざして、さらに多くの方々にご利用いただけるよう役職員一同、精一杯努力して参ります。

今後もより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

一般財団法人相模原教育会館
理事長　増田　貴範

教育文化講演会のひとこま

●2023年度事業報告

●第1回人権・解放教育研修会
アンガーマネジメントについて学びを深めるために

6月15日、「第1回人権・解放教育研修会」をWeb開催しました。

アンガーマネジメントについて学びを深めるために、渋倉崇行さん（一般社団法人スポーツフォーキッズジャパン代表）が講演を行いました。

参加者からは、「指導者として学校生活・部活動等での指導のあり方や子どもの人権侵害に対する未然防止策等、普段から気をつけていきたい」「子どもを指導する立場の人間として、忘れてはならない大切なことを再認識できました」「わかっているつもりでも、日々の自分の言動に反省すべき点がありました」「改めて子どもたちの人権を認識する良い機会となりました」「子どものためと思っていたことが、時として子どもの権利を守ることとは反することもあるのだと気づきました」等の感想があり、子どもの人権や指導者としてのあり方等に関しての理解を深めることができました。

渋倉崇行さん（一般社団法人スポーツフォーキッズジャパン代表）

●第2回人権・解放教育研修会
男女共同参画社会現実にむけたとりくみについて講演

1月24日、「第2回人権・解放教育研修会　自立と共生をめざす教育研修会」を湘北地区教職員組合協議会女性部との共催でハイブリッド開催しました。

京島けいこさん（神奈川県議会議員）

女性の政治参画と「障がい」者の社会参画の現状をテーマに京島けいこさん（神奈川県議会議員）が講演を行いました。中途失聴された自身の体験から考えられていることや男女共同参画社会実現にむけてとりくんでいることなどをわかりやすく話していただきました。

参加者からは、「多様な人々が政治に参加できる世の中になればいいなと思いました」「議会での対応など、『障がい』をもつ方への配慮などがもっと広がるとよいと感じました」「三児の父で三人目の子から初めて育休を取りましたので、第一子から取得しておくべきだったと深く後悔しています」等、インクルーシブ教育の理念への再認識や男女共同参画社会実現にむけた自分自身の課題などについての感想が寄せられました。

●親と子のふれあい映画会
映画「オープン・シーズン」を4会場で上映

子どもたちの夏休み期間に合わせて、4会場（7月24日ハーモニーホール座間・25日相模原教育会館・28日津久井中央公民館・8月2日愛川町文化会館ホール）で親と子のふれあい映画会を開催しました。

7月28日に上映された津久井中央公民館にて

「シチリアを征服したクマ王国の物語」は、クマの王が息子を取り戻すために、さまざまな困難を乗り越えながら人間界をめざす物語です。各会場合わせて266人の参加がありました。

参加者からは「たくさんクマが出てきておもしろかった」「楽しいところも怖いところもあってハラハラした」等の声が寄せられました。

●親と子のふれあいカルチャー教室「南極体験と光の魔法」と題し、体験教室に24人が参加

7月27日、「親と子のふれあいカルチャー教室」が開催され、24人の参加がありました。理科実験教室アインシュタインラボから2人の講師を招き、「南極体験と光の魔法」と題し、体験教室を行いました。液体窒素などを使い、身の周りにある空気や水、光の不思議な変化を、様々な実験を通して楽しみながら学びました。

参加者からは、「液体窒素をかけたスナック菓子を食べたら、鼻から白い空気が出たのが面白かった」「大人の私も、どうなるのだろう、というワクワク続きでした」「子どもの目がキラキラしていて、体験に連れてきてよかったと思った」等の声があり、有意義な時間となりました。

液体窒素などを使い光の不思議な変化を体験

●教育文化講演会 発達多様性やサポート体制のあり方などについて講演

2月29日、「教育文化講演会」がハイブリッド開催され、193人の参加がありました。

今年度は、星山麻木さん（明星大学教育学部教育学科教授）をお招きし、発達多様性や、その子どもへのサポート体制のあり方、自分理解などについてご講演いただきました。

講演の冒頭、星山さんから、1歳半で命を失った子どもとの出会いから「教育とは何なのか」について考えさせられたこと、多様な特性のある子どもの保護者を支える必要性を感じたこと、パニックを起こす子どものことが理解できずに大学院で学び直したことなど、自身の経験についてお話がありました。

また、「努力したらできる」ということが必ずしもそうとは限らないことについて、実話を元にした絵本などで例えを挙げながらお話ししてくださいました。見かけでは分からない機能の違いによる「困難さ」を理解することやそのサポートのあり方や合理的配慮とは何なのかをわかりやすく示していただきました。

参加者からは「今日の講演を聞いて、できないことを叱るのではなくどうやったらできるか一緒に考えられるように心がけたい」「一人ひとり皆違い、持っている能力やスタートラインが違うことを集団として見ていくうちに薄くなっていたことに気付かされた」等の声が寄せられました。

星山麻木さん（明星大学教育学部教育学科教授）

相模原教育会館の会議室を利用してみませんか？

(一財)相模原教育会館は、200人以上が入れる大会議室など、各種様々な部屋を貸し出しています。ぜひ、ご利用ください。

室名	定員	料金
小会議室（1）	30名	1時間　700円
小会議室（2）	30名	1時間　700円
小会議室（3）	30名	1時間　700円
小会議室(1)(2)は合わせて1室(60名)として利用できます。		
大会議室（1）	120名	1時間　2,100円
大会議室（2）	120名	1時間　2,100円
大会議室(1)(2)は合わせて1室(240名)として利用できます。		
控室	10名	1時間　300円

（※控室は単独での貸出をしていません。）

●地域に根ざす教育・文化の振興に寄与するために

2024年度一般財団法人・相模原教育会館事業計画

1．教育文化振興事業

（1）親と子のふれあい映画会

・時期および場所
7月下旬～8月中旬
津久井中央公民館
愛川町文化会館
大和市保健福祉センター
相模原教育会館

・内容　映画上映
（自然や動物と人とのふれあいをテーマにした作品）

・対象　一般

（2）教育文化講演会

・時期　2月

・場所　相模原教育会館

・内容　文化・教養の向上に資するもの

・対象　一般

（3）「教育会館だより」の発行

・時期　年1回

・内容　実施事業の報告およびPR

・対象　一般

2．教職員福利厚生事業

（1）スポーツ観戦チケット斡旋

・時期　5月
（2024年後期日程分）
3月
（2025年前期日程分）

・内容　横浜スタジアム（プロ野球ベイスターズ戦）
ペアチケット斡旋

・対象　教職員

（2）親と子のふれあいカルチャー教室

・時期　7月下旬

・場所　相模原教育会館

・内容　理科実験教室

・対象　教職員とその家族、小・中学生

（3）歴史・文化散歩

・時期　9月中旬

・場所　未定

・内容　歴史や文化、由緒ある場所などの見学

・対象　退職教職員

（4）湘北教職員体育大会（球技の部）

・時期　10月上旬～中旬

・場所　湘北地区内会場

・対象　教職員

（5）人権・解放教育研修会

・時期　6月中旬
1月下旬
（2回開催）

・場所　相模原教育会館

・内容　人権課題に対する意識理解を深めるための研修会

・対象　教職員

（6）学習交流会

・時期　10月下旬

・場所　相模原教育会館

・内容　学校現場の教育課題についての話し合い

・対象　教職員、退職教職員

（7）教育・教養研修会

・時期　1月

・場所　相模原教育会館

・内容　教育課題に関する研修会

・対象　教職員

（8）物資斡旋

・時期　随時

・場所　各学校・各教職員より申し込み

・内容　物資販売の斡旋案内

・対象　教職員

3．教育会館運営及び生命共済事業等

（1）会議室の貸室

・時期　通年

・内容　教育会館内会議室の貸出案内・調整、施設・備品整備　等

・対象　各構成団体、一般

（2）湘北教職員生命共済

・時期　7月下旬～9月中旬
（説明会・加入手続き）
2月
（保障制度開始）

・内容　2025年（第39期）更新推進事業、新規・継続加入説明・通知　等

・対象　教職員

4．その他

（1）教育会館ホームページ

・時期　通年

・内容　教育会館の紹介
（設立趣旨、会議室貸出案内等）

URL http://www.sagamiharakyouikukaikan.or.jp